



先ず！
参加の呼びかけに
力をいれました。

今回の研修会には、地域で生活するすべての人を対象に参加の呼びかけを行いました。
介護事業所、医療機関、施設で働く方々ももちろん、地域で暮らしているなら、警察署、消防署、商工会、コンビニ、銀行、郵便局、スーパーなど生活に密着している機関へ、また、民生委員さんや生活・介護支援サポーターなど地域住民の方へ案内を持参し、研修会の目的を説明させて頂きました。

地域ケア会議を分かりやすく伝えるために
グループに分かれ、自分が暮らす地域、自分が働いている地域、地域でできることを皆で考えて意見を交換しました。

伝えなかったことは...
はじめの一步はみんなで考えることから！

130人の地域ケア会議

7年目のネットワーク研修会～安心して暮らせる地域を目指して開催してきた



各種サポーター

一般市民



老人会



NPO



社協



ボランティア



町内会



行政



地域包括

step8

6年目「皆で考えよう！見守りネットワーク」

step6

5年目「皆で考えよう！見守りネットワーク」災害で意識が高まった...

step4

4年目「皆で考えよう！見守りネットワーク」なんやかんやと大変やった...

step3

3年目「皆で考えよう！見守りネットワーク」

step2

2年目「皆で考えよう！見守りネットワーク」

step1

1年目「皆で考えよう！見守りネットワーク」地域からの参加は少なかった.....

新聞に掲載され

参加者以外にも、
必要性を伝えることが
出来た！





「めざせ!つながる地域(地域包括ケアシステム)初めの一步は皆で考えることから」とのテーマで御所市地域包括支援センターと協同で、地域包括ケアシステムや地域ケア会議についてお伝えしました。

地域ケア会議は、関係する様々な方々に参加して頂き、地域の中で支援を必要とする方への協力体制や、それぞれが出来る事の提案。また、不足している支援の課題を検討することにより、地域の「繋がり」の再生や、その「繋がり」というネットワークから、「いつもでも暮らし続けることが出来る地域作り」が行なえることが期待されており、地域包括ケアシステム構築への大切な役割を担っていることを共有しました。

130人の地域ケア会議

7年目のネットワーク研修会～

安心して暮らせる地域を目指して開催してきた

そして…

6年目「防災について考えよう」防災に対する意識とご近所の大切さを、あらためて伝えた…。

5年目「地域の繋がりを作る」事例を通して、行政・事業所・地域の方々の支援の輪の大切さを伝えた…。

4年目「心のケア」東日本大震災を通して、繋がり大切さを、あらためて皆さんが感じておられるようでした…。

3年目「みんなの力で地域をつなぐ」地域の事業所の役割を配信!初の生活・介護支援サポーター方が参加!

2年目「地域に求められる事業所とは…」まずは、地域の事業所の方々との繋がり作りから…

1年目「皆で考えよう!見守りネットワーク」地域では、認知症について理解されておらず、認知症は「人ごと」でした。



ネットワーク研修会のはじまり

平成20年より、年に
一度「安心して暮らせる
地域について様々な角度から考える研修会

地域について様々な角度から考える研修会
を開催しています。

地域がつながるために、一緒に考えることを
大切にしたい研修会を目指しています。
様々な立場の方にお集まりいただくことで、
共感できること、知ること、共有することの
大切さを毎回感じています。

鴻池荘在宅介護支援センターの活動内容

地域を基盤とした積極的な住民参加・事業所参加のネットワークづくりのための人材養成や効果的な住民主体のネットワークシステムの構築を目的に、地域に出向き、民生委員、自治会役員、その他関係者と連携を図りながら活動を行っている。

主な活動として、高齢者の身近な相談窓口としての役割や健康教室の開催(月1回)、認知症サポーター養成講座や地域に出向いて開催するミニ健康教室、地域ネットワーク研修会などを開催し、更に法人の在宅支援部門である地域ケアセンターと一体となって、地域の事業所と住民を対象に「公開研修会」という形で、勉強会の場の提供、保健・医療・福祉の情報配信として「蜻蛉新聞」の発行と定期メール「とんぼMail」の配信を行っている。

昨年より、気軽に立ち寄れる「地域ケアセンターランチ」を立ち上げ、より地域に身近な存在となるべく活動を行っている。



先ず！

参加の呼びかけに
力をいれました。

今回の研修会には、地域で生活するすべての人を対象に参加の呼びかけを行いました。

介護事業所、医療機関、施設で働くかたはもちろん、地域で暮らしているなら、警察署、消防署、商工会、コンビニ、銀行、郵便局、スーパーなど生活に密着している機関へ、また、民生委員さんや生活・介護支援サポーターなど地域住民の方へ案内を持参し、研修会の目的を説明させて頂きました。



地域包括ケアシステムについて、参加されている方全員に、理解して頂けるようにお伝えしました。

おおむね30分以内の日常生活圏域内(中学校区)において、医療機関や、介護保険サービスだけではなく、福祉関係や・生活支援サービス等が一体的かつ適切に相談・利用できる提供体制と定義されていることや、「住まい」「予防」「医療」「介護」「生活支援」の5つの要素の説明と、これらをバラバラに提供されるのではなく、互いに連携し提供されることで、住みなれた地域で、自分らしく、暮らすことが出来るということをお伝えしました。

地域ケア会議を分かりやすく伝えるために

グループに分かれ、
自分が暮らす地域、
自分が働いている地域、地域で
できることを皆で考えて
意見を交換しました。

御所市地域包括支援センターが
実際に地域ケア会議を開催
した事例を基に、ご参加いただいた
皆さん全員で地域で安心して暮らせる
ための支援について考えました。

新聞に掲載され

参加者以外にも、 必要性を伝えることが 出来た！



伝えたかった ことは...

はじめの一步は みんなで考えることから！

